

ニュースレター

あみ ami



第4号 2017年（平成29年）8月発行

今号のトピック

1. 地域で始めています

～様々な活動のご紹介～

2. 南部まちづくり応援協議会

① 助け合い調査の結果

② 今年度の計画

1. 地域のサロンを紹介します

地域の中にはたくさんのサロンがあります。町内や同じ趣味を持つ人など・・・どこを訪ねても笑顔にあふれていました。

御野場西町内会「四季の会」

町内をあげて介護が必要にならないように予防をしています。

今回は高齢者の相談窓口である地域包括支援センターの役割や認知症の予防について寸劇を通して学びました。



四季の会代表自らも講義

タイトルの「あみ」って？

amiはフランス語で「仲間・友だち」。いま私たちが取り組み始めたのは、身近な地域での仲間づくり・楽しい参加の機会づくり。年齢や立場を問わない、気軽な出会いと心地良いゆる～いつながり。それをみんなで手作りしていく過程は、まるで「編み」作業のよう。



御所野地域包括支援センターによる寸劇（相談対応の一場面）

御所野地区「ごしょのくらぶ」

お金をかけず楽しく健康に！を目標に、保健推進員が中心になって年10回健康講座を企画・運営。地区担当の保健師や地域包括支援センター職員も毎回参加しています。

今回は秋田大学保健学科の若狭教授と学生3名の協力を得て体力測定を行いました。



セラバンドを使った運動



足の筋力測定



生活状況の聞き取り

2. 南部まちづくり応援協議会

今年度も御所野・御野場・四ツ小屋・仁井田地区の地域活動に携わる方々が集まる、南部まちづくり応援協議会の活動が始まりました。

5月に開催した第1回会議では、今年度計画(取り組み予定)の確認や昨年実施した、住み慣れた地域で長く暮らす地域づくりのヒントや生きがいや暮らしの中の助け合いについての調査結果報告が行われました。



東京大学高齢社会総合研究機構の後藤純先生



第1回 南部まちづくり応援協議会会議の様子

質問の一部

- ①グループ活動の参加頻度は？
週1回以上 33.4%
月1回程度 60.5%
- ②続けている、若しくはこれから始めたい趣味は？
園芸、ウォーキング、映画鑑賞、パソコン
- ③困り事はありますか？
除雪、草取り、大きなゴミ出し、話し相手がほしい
- ④どんな支え合いに協力できますか？
雪寄せ・声がけ・安否確認が上位
- ⑤地域の支え合いで重視することは？
地域住民が一体となって協力する 85.8%
地域全体の課題解決 81.3%

高齢者生活支援体制整備事業の目的

後藤先生より

要介護状態になると今まで行っていた地域のサロンから切り離されて、介護保険を使ってデイサービスを利用したり施設に入所したりします。

引き続きサロンに行けるようにしましょうとか、地域で暮らしましょうという、メニューの選択肢を増やすということが2025年までに進んでいきます。

自分の地域には地域資源があるのか？
皆さんがご活躍しているうちに育てていこうと応援していくことが生活支援体制整備事業の大きな目的で、自分が弱っても地域資源を使えるか？がポイントです。

今年度の計画

- ①年をとっても介護が必要になっても心配なく暮らせるまちづくりのイメージを伝えよう！
- ②地域の集まりや新しい情報を得て住んでいる地域で活かそう！
- ③南部まちづくり応援協議会会議の様子やサロン活動などを広報紙を通じて案内しよう！

おしらせ

8月29日と8月30日に秋田県主催で「生活支援コーディネーター養成研修会」の開催があり、地域づくりや支え合いに関心を持つ受講者を募集しています。

生活支援コーディネーターは地域の中にある支え合い活動や集う場等を把握し、継続するためのお手伝いや地域で暮らす皆さんの協力をもとに新たな立ち上げ支援を行う役割を担います。

受講に関するお申し込みや問い合わせは右記までお願いします。

発行

社会福祉法人 秋田けやき会

御所野地域包括支援センターけやき

〒010-1412

秋田市御所野下堤五丁目1番5号

電話 018 (826) 0651/代表

FAX 018 (826) 0652

ホームページ akita-keyaki.or.jp